

課題別戦略 (現在の内容)

重点課題 1

『新宿の高度防災都市化と安全安心の強化』

近年、日本各地で多くの被害をもたらしている地震・台風などの自然災害を受け、今後予想される首都直下地震や集中豪雨などに対応するため、3つの戦略を示します。

戦略 a	建物の安全安心の強化
戦略 b	地域の防災性の強化
戦略 c	防災体制の強化

重点課題 2

『賑わい都市・新宿の創造』

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とし、新宿区の魅力をさらに高め、国際都市として世界に発信していくため、3つの戦略を示します。

戦略 d	国際観光都市の推進
戦略 e	愛着と誇りをもてるまちの発展
戦略 f	持続的に発展する都市の推進

戦略 d | 国際観光都市の推進

考え方: 国内外から訪れる人々が新宿の魅力を感じる、「世界があこがれるまち」をつくります。

重点的な取組み: ①都市基盤整備の推進 ②ユニバーサルデザイン*まちづくりの推進 ③新宿の顔づくりの推進

追加・修正する内容

- ゆとりある公共空間の整備
- AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業の推進

戦略 e | 愛着と誇りをもてるまちの発展

考え方: 区民の暮らしに潤いを与える、「多様性を活かしたまち」をつくります。

重点的な取組み: ①地域特性を活かしたまちづくりの推進 ②人に配慮した「場」づくりの推進 ③歴史、文化、芸術など多様な魅力による賑わいづくり

- 公共空間や公開空地などの柔軟な利活用
- 多様な暮らし方、働き方に対応した「場」づくり

戦略 f | 持続的に発展する都市の推進

考え方: 変化する地球環境のなかで新宿区が発展し続けるため「環境にやさしいまち」をつくります

重点的な取組み: ①地球温暖化対策の推進 ②豊かなみどりの創造と魅力ある公園等の整備の推進 ③交通環境の整備の推進

- 再生エネルギーの利活用の推進
- ZEB化の誘導、環境に配慮した電力調達の誘導
- 次世代モビリティや自動運転技術の活用
- 次世代モビリティや自動運転技術の活用
- グリーンスローモビリティやシェアリングモビリティの活用
- 道路空間の柔軟な利活用

現在の内容

【課題別戦略】重点課題2『賑わい都市・新宿の創造』

戦略d 国際観光都市の推進

2 重点的な取組み 1. 都市基盤整備の推進 (P.29)

●取組み

- ・交通結節点となる新宿駅や高田馬場駅等の駅施設及び駅周辺のバリアフリー化を進めます。あわせて、駅前広場の再整備を進めます。
- ・拠点と拠点をつなぐ都市計画道路の整備を促進します。また、補助第71号線（大久保通り）など未整備の区間については、都市計画のあり方を検討します。
- ・都市マスタープランで位置付ける「創造交流地区」や「賑わい交流地区」において、都市の交流機能を支える都市機能である宿泊施設や滞在施設等の整備を進めます。
- ・駅施設や都市計画道路の整備にあわせて、周辺のまちづくりの検討を進めます。
- ・外国人観光客をはじめとした来街者の利便性を高めるとともに、災害時にも有効であることから、官民が連携して、無料公衆無線LAN（Wi-Fi）のアクセスポイントを整備します。

追加する内容

- ・道路や公園などについて、みどりやオープンスペースの連続性やネットワークに配慮した、人中心のゆとりある公共空間としての整備を進めます。



ゆとりある公共空間（新宿中央公園）

- ・新宿駅周辺、高田馬場地区、四谷地区、飯田橋地区及び大久保地区において、AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を推進していきます。

現在の内容

【課題別戦略】重点課題2『賑わい都市・新宿の創造』

戦略 e 愛着と誇りをもてるまちの発展

2 重点的な取組み 2. 人に配慮した「場」づくりの推進 (P.32)

●取組み

・公共空間において、地域のコミュニケーションやふれあいの「場」として、憩いと賑わいの空間づくりを進めるとともに、誰もが気軽に外出したくなるようなまちづくりを進めます。

- 道路空間を活用したオープンカフェの開設やイベントの開催などの推進。
- 歩道や遊歩道、公園・広場などにおける、休憩ベンチや緑陰空間の整備の推進。
- 公園におけるイベント開催や季節に合わせたライトアップの推進。
- 公園における民間活力を活用したレストラン運営などの検討。

・地域のコミュニケーションやふれあいの「場」として、活気ある商店街づくりを推進します。

・区民が健康を意識せずとも身体を動かす機会が増え、誰もが健康的な生活を送れるように、ウォーキング活動等を楽しめる「場」として、道路や公園・広場などの公共空間において、緑化や景観形成に配慮するとともに、地域特性やまちの資源を活かした魅力ある空間づくりを進めます。

・様々な世代の区民が、「場」を楽しく安心して利用できるように、見通しの確保や清掃・美化などを図るとともに、放置自転車対策等を推進します。

追加・修正する内容

(青字部分追記修正)

- ・**公民連携による公共空間や公開空地などの一体的かつ柔軟な利活用により**、地域のコミュニケーションやふれあいの「場」として、憩いと賑わいの**ゆとりある**空間づくりを進めるとともに、**感染症の拡大時にも安心して外出できる**ようなまちづくりを進めます。



公開空地の利活用(西新宿)



新宿通り (SHINJUKU STREET SEATS)

- ・**感染症の拡大時にも事業継続が可能となるテレワークなどの普及にあわせ**、多様な暮らし方、働き方に対応した身近な公園やオープンスペース、また、**ゆとりある共用スペースのある空間づくりを推進**します。

2 (1) 課題別戦略の改定イメージ

現在の内容

【課題別戦略】重点課題2『賑わい都市・新宿の創造』
戦略 f 持続的に発展する都市の推進
2 重点的な取組み 1. 地球温暖化対策の推進 (P.35)

●取組み

・太陽光、太陽熱、地中熱などの再生可能エネルギー、排熱などの未利用エネルギーの普及のための取組みを進めます。

・ICTによるエネルギーの管理や、コージェネレーションなどの高効率なエネルギー設備の導入を促進します。

・建物の敷地の接道部緑化、建物の屋上緑化や壁面緑化を進めます。

・交通渋滞の緩和、自動車交通の抑制、公共交通機関の整備と利用を進めます。

・道路や公共施設への遮熱透水性舗装や保水性舗装などの整備を進めます。

追加・修正する内容

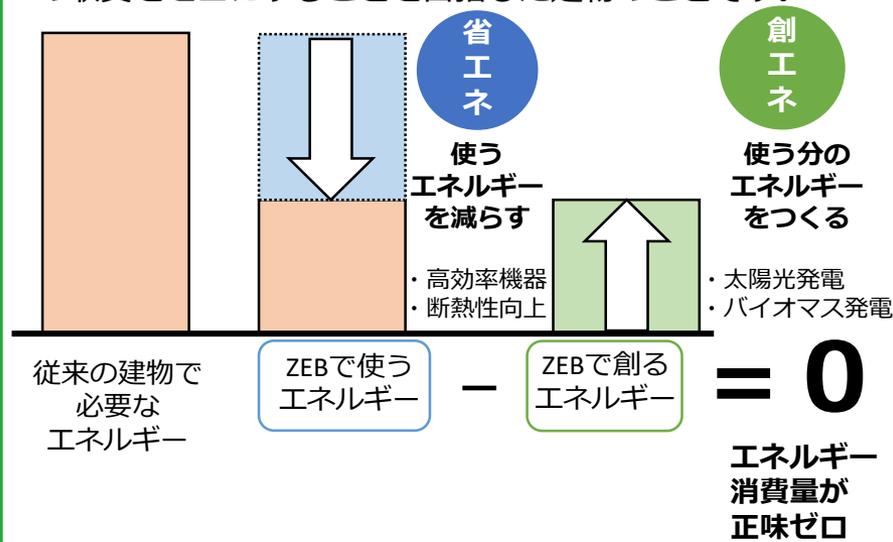
(緑字部分追記修正)

・太陽光、地中熱などの再生可能エネルギーの**利活用を推進していきます**。また、排熱などの未利用エネルギーの普及のための取組みを進めます。

・ICTによるエネルギーの管理や、コージェネレーションなどの高効率なエネルギー設備の導入の促進、**ZEB化の誘導、環境に配慮した電力調達への切替の誘導等**を進めます。

ZEBとは？

Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。



・新宿駅周辺、高田馬場地区、四谷地区、飯田橋地区及び大久保地区において、都市基盤整備と連携した、次世代モビリティや自動運転技術の活用について検討を進めます。

現在の内容

【課題別戦略】重点課題2『賑わい都市・新宿の創造』
戦略 f 持続的に発展する都市の推進
2 重点的な取組み 3. 交通環境の整備の推進 (P.36)

●取組み

- ・自転車の走行環境の連続性やネットワーク化を図るとともに、自転車走行空間の創出や自転車ナビマークなどの設置を進めます。
- ・自転車が適正に利用されるよう、駐輪場の整備を進めるとともに、事業者等における駐輪空間の確保について検討します。また利用に関するルールやマナーの周知を図ります。

・区民の新たな移動手段として、また、観光の活性化やまちの回遊性の向上が期待できる、自転車シェアリングを推進します。

- ・新宿駅周辺の観光拠点・商業施設・駐車場・駅等を結ぶ循環型バスである新宿WEバスは、区民の移動手段として、また、観光客需要にも視点を向けた利用促進について検討します。

追加・修正する内容

- ・新宿駅周辺、高田馬場地区、四谷地区、飯田橋地区及び大久保地区において、都市基盤整備と連携した、次世代モビリティや自動運転技術の活用について検討を進めます。

- ・区民の新たな移動手段として、また、観光の活性化やまちの回遊性の向上が期待できる、**グリーンスローモビリティ**や**シェアリングモビリティ**の活用を検討します。

(青字部分追記修正)

※グリーンスローモビリティとは

時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスのこと。

※シェアリングモビリティとは

複数の人などで共有して使用する車、スクーター、自転車、キックボードなど、移動のための乗り物のこと。

- ・新宿駅周辺、高田馬場地区、四谷地区、飯田橋地区及び大久保地区において、賑わい創出や快適な歩行者空間の確保のための柔軟な道路空間の利活用を検討します。

